

昭和四十八年十月八日

六十一—A B C D E

トヨタ、スターレットに4ドアシリーズを新設

——併せてクーペに安全対策を追加実施し、価格据置——

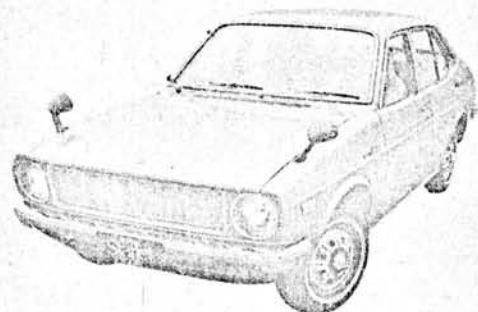
トヨタ自動車販売㈱は、大衆乗用車スターレットに四ドアシリーズ（一〇〇〇及び一二〇〇）を新設、十月八日、全国一斉に発売する。四ドアシリーズは、既設のクーペをベースとして、シャープでダイナミックなスタイルを踏襲し、さらにリヤの居住性を向上させたもので、五つのグレード（スタンダード、デラックス、ハイデラックス、XL、ST）、十二車種で構成されている。今回、四ドアシリーズを追加したことによって、スターレットの車種体系はクーペシリーズと併せて大幅に拡大強化された。

当社は、本年四月、パーソナルクーペとしてスターレットを発売したのであるが、その後、パーソナルセダンを望む声も高まってきたため、それに対応して、今回、四ドアシリーズを追加発売したものである。

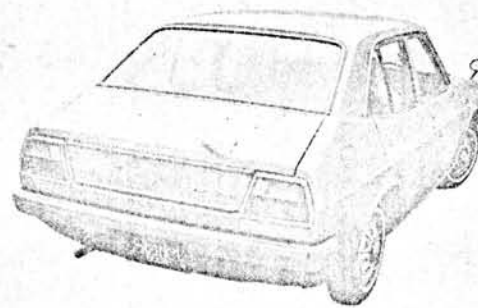
四ドアシリーズのボディシエル、性能、機能、装備などは、既存のクーペシリーズと概ね同様であるが、本年十二月一日より施行される保安基準の改正に伴う対策は実施済みである。

四ドアシリーズを加えたスターレットの販売目標は、当面、月販一〇〇〇〇台とする。四ドア車の価格及び車両の概要は別紙のとおりである。

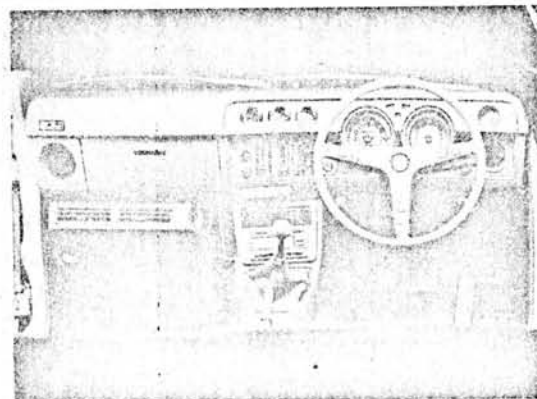
なお、四ドアシリーズの発売と同時に、既存のクーペシリーズに対しても保安基準の改正に伴う対策を実施したが、価格は据置きとした。



スターレット471200XL (KP42-KGF) '73.10



スターレット471200XL (KP42-KGF) '73.10



スターレット471200XL (KP42-KGF)
(7.クーペ、スターレットはオプション) '73.10

◎ スターレット・四ドア車両概要

I 公害・安全対策

- ① エン진은、クーベに搭載している一〇〇〇cc二K型と、一二〇〇cc三K型及び三K一BR型で、それぞれ四十八年排出ガス規制対策を完了している。
- ② 万一の時でも、衝撃をスムーズに吸収できる衝撃吸収式ステアリングを全車種に標準で装備し、安全性の向上に努めた。
- ③ ブレーキの作動系統をフロントとリヤの二系統に分け、一方が故障しても他方の作動を確保するタンデムマスターシリンダーを全車種に標準で装備した。
- ④ フロントディスクブレーキをハイデラックス車以上に標準で装備するとともに、後輪のロックを防止するPバルブ付とした。また、デラックス及びスタンダード車のフロントブレーキにもディスク式をオプションで設定した。
- ⑤ 安全性が高く、かつ、万一の時でも最低限の視界を確保する板厚五mmの部分強化ガラスをフロントウインドに採用した。その他のウインドには板厚四mmの強化ガラスを使用した。
- ⑥ 前二席とも、リトラクター付三点式シートベルトを標準で装備し、シヨルダーベルトは手元調整式として使い易くした。また、リヤ席用二点式シートベルトも全車にオプションで設定した。
- ⑦ 夜間運転する時、便利でかつ安全性の高い防眩式インナーリヤビューミラー、また、雨天時など後窓のくもりを防止し、後方視界を確保するリヤウインドデフォッガーを、それぞれXLとST車に標準で装備し、ハイデラックスとデラックス車にオプションで設定した。

II 室内・装備品・その他

- ① 左右別々に折りたたみができるリヤシートをXL及びST車に標準で装備し、シートを折りたたんだ場合、トランクルームと後席のスペースを一体化して有効に活用できるようにした。この二分割折りたたみ式リヤシートを、ハイデラックス及びデラックス車にもオプションで設定した。
- ② デラックス車以上のフロントシートは、リクライニング式とし、スタンダード車のフロントシートも乗員の背丈に合わせて、微調整の出来る構造とした。
- ③ リヤシートには、四ドア専用のクッションを採用し、後席の居住性向上を図った。
- ④ インストルメントパネルは、運転席をつつみ込むようにパノラミックに配置されており、また、計器盤は目で見るメーター類と、操作するスイッチ類を上下に分割した、見易く、使い易いものである。

ス タ ー レ ッ ト

4 ド ア

ク ー ペ

エンジン		グレード トランスミッション	スタン ダード	デラ ックス	ハイ デラックス	XL	ST
1,000 CC	シングル キャブ レター	4 段	○	○	○		
1,200 CC		4 段		○	○	○	
		5 段				○	
		2速 オート マチック		○	○	○	
	ツイン キャブ レター	4 段					○
5 段						○	

エンジン		トランスミッション	外装	X T		S T			SR
			内装	L	D	G	L	S	R
1,000CC	シングル キャブ レター	4 段	○	○					
1,200CC		4 段	○	○		○	○		
		5 段			○	○	○		
		2速 オート マチック	○	○					
ツイン	キャブ レター	4 段				○	○		
		5 段			○	○	○	◎	

スターレット車種体系一覧表

- 注) 1. 使用ガソリンはレギュラーガソリンが原則である。
 2. ◎印車種にはプレミアムガソリン仕様もある。

- ⑤ ステレオバック入れなどを組み込んだ、実用性の高いコンソールボックスをハイデラックス車以上の車種及びデラックス車の二速オートマチック車に標準で装備した。
- ⑥ ヒーター及びヒーターブロアーを利用した強制換気装置、そしてラジオをデラックス車以上に標準で装備し、スタンダード車にはオプションで設定した。
- ⑦ 室内の換気効率の向上を図り、室内ベンチレーターの吹き出し口をクォーターパネルの左右二ヶ所に設けた。
- ⑧ ウォッシュャー連動式の二スピードワイパーをXLとST車に標準で装備し、ハイデラックス車にはオプションで設定した。
- ⑨ 四ドア専用のリヤサスペンションを新設し、走行フィーリングの向上を図った。
- ⑩ 全高をクーペXT車より二〇mm（但し、ST車は一〇mm）高くし、後席乗員のヘッドクリアランス（頭上空間）の確保に努めた。

◎ スターレット四ドア主要車種標準価格一覧表

(スベアタイヤ・標準工具一式付)

単位 千円)

車 種	トランスミッション タイプ	東 京	名古屋	大 阪
一〇〇〇 スタンダード	四段フロア	四五七	四五三	四五五
一〇〇〇 デラックス	四段フロア	五〇三	四九九	五〇一
一〇〇〇 ハイデラックス	四段フロア	五三二	五二八	五三〇
一二〇〇 デラックス	四段フロア	五二三	五一九	五二一
一二〇〇 ハイデラックス	四段フロア	五五二	五四八	五五〇
一二〇〇 X L	四段フロア	五八五	五八一	五八三
一二〇〇 S T	四段フロア	六一五	六一一	六一三

以 上

スターレット主要諸元表

[illegible]

くく内は分割折りたたみ式リアシート使用の場合

燃焼料消費率：60kg/h時公定値に上る

運路運送率同法による新型車両の書取値。本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

乗クーペS T (G) は 5 段フロアの